

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【公開番号】特開2011-173004(P2011-173004A)

【公開日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-036

【出願番号】特願2011-131652(P2011-131652)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 4 G

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月29日(2011.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表面に複数種類の図柄を含む環状の図柄列が形成された複数の可動表示体と、
 前記各可動表示体について前記図柄列の一部を構成する所定個数分の図柄群を遊技機本体の前面側にて表示可能とする図柄表示部と、
 1 回ごとのゲームについて所定数の遊技価値を掛けた状態で遊技者による始動操作可能な始動操作手段と、
 前記始動操作手段が操作されたことに基づいて前記複数の可動表示体を回転させて図柄の表示を変動させる回転制御手段と、
 1 回のゲームごとに、ビッグボーナスフラグ及び一般フラグを少なくとも含む複数のフラグのうちいずれかのフラグについて内部成立させるか否かの内部抽選を行う抽選手段と、
 前記可動表示体の回転を個々に停止させるべく個々の前記可動表示体について停止操作可能な停止操作手段と、
 前記停止操作手段が操作されたことに基づいて、内部成立しているフラグに対応する図柄を所定図柄数の範囲内で引き込んで、回転状態にある前記可動表示体を停止させることが可能な停止制御手段と、
 前記複数の可動表示体が停止したときに、前記一般フラグに対応する一般図柄の組み合わせが前記図柄表示部内に表示されたことに基づいて、所定の遊技価値を付与可能な遊技価値付与手段と、
 前記複数の可動表示体が停止したときに、前記ビッグボーナスフラグに対応するビッグボーナス図柄の組み合わせが前記図柄表示部内に表示されたことに基づいて、多量の遊技価値が付与されるビッグボーナスゲームを実行するビッグボーナスゲーム実行手段と、
 を備え、
 前記停止制御手段は、
 前記複数の可動表示体のうち特定の可動表示体について、前記ビッグボーナスフラグ及び前記一般フラグのそれぞれに対応する図柄のいずれについても前記所定図柄数の範囲内で引き込むことが可能な特定タイミングで停止操作される限り、常には、前記図柄表示部に同じ図柄が表示されるように、
 前記複数のフラグのいずれも内部成立していない場合、前記ビッグボーナスフラグが内

部成立していることによって前記ビッグボーナスゲームの実行が許容されている場合、及び、前記一般フラグが内部成立している場合には、前記ビッグボーナスフラグに対応する図柄を、前記図柄表示部内の、同じ位置である特定位置に、表示させる同位置停止制御手段を有し、

さらに、

多量の遊技価値が付与されるビッグボーナスゲームの実行が許容されているときに、前記特定の可動表示体が前記特定タイミングで停止操作されたにもかかわらず、前記ビッグボーナスフラグに対応する図柄を、前記特定位置とは異なる位置に表示することを可能とすべく、

前記可動表示体に、前記ビッグボーナスフラグとは別のフラグとしての第2のビッグボーナスフラグに対応する第2のビッグボーナス図柄を含めた上で、

前記抽選手段は、

前記ビッグボーナスフラグ及び前記一般フラグの他に、前記第2のビッグボーナスフラグについても内部成立するように前記内部抽選を行うとともに、

前記停止制御手段は、

前記特定の可動表示体について、前記特定タイミングで停止操作される限り、前記ビッグボーナスフラグに対応する図柄を、前記図柄表示部内の、同じ位置である前記特定位置に、表示させながらも、

前記第2のビッグボーナスフラグが内部成立しているときには、前記特定の可動表示体が前記特定のタイミングで停止操作されたにもかかわらず、前記ビッグボーナスフラグに対応する図柄が前記特定位置を通過して前記図柄表示部の外に表示されるように、前記特定の可動表示体を停止させる異位置停止制御手段を有し、

前記ビッグボーナスゲーム実行手段は、

全ての前記可動表示体の停止時に、前記第2のビッグボーナスフラグに対応する第2のビッグボーナス図柄の組み合わせが前記図柄表示部内に表示されたときには、前記ビッグボーナス図柄の組み合わせが前記図柄表示部内に表示されたときよりも、多量の遊技価値が付与される第2のビッグボーナスゲームを実行する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記複数の可動表示体は、左右方向に並んで配置されており、

前記特定の可動表示体は、左右方向に並んで配置された前記複数の可動表示体のうち最も左側に配置された可動表示体である

請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記図柄表示部に表示される所定個数は3個である

請求項1又は2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(解決手段1)

本発明の遊技機は、表面に複数種類の図柄を含む環状の図柄列が形成された複数の可動表示体と、前記各可動表示体について前記図柄列の一部を構成する所定個数分の図柄群を遊技機本体の前面側にて表示可能とする図柄表示部と、1回ごとのゲームについて所定数の遊技価値を掛けた状態で遊技者による始動操作可能な始動操作手段と、前記始動操作手段が操作されたことに基づいて前記複数の可動表示体を回転させて図柄の表示を変動させる回転制御手段と、1回のゲームごとに、ビッグボーナスフラグ及び一般フラグを少なくとも含む複数のフラグのうちいずれかのフラグについて内部成立させるか否かの内部抽選

を行う抽選手段と、前記可動表示体の回転を個々に停止させるべく個々の前記可動表示体について停止操作可能な停止操作手段と、前記停止操作手段が操作されたことに基づいて、内部成立しているフラグに対応する図柄を所定図柄数の範囲内で引き込んで、回転状態にある前記可動表示体を停止させることが可能な停止制御手段と、前記複数の可動表示体が停止したときに、前記一般フラグに対応する一般図柄の組み合わせが前記図柄表示部内に表示されたことに基づいて、所定の遊技価値を付与可能な遊技価値付与手段と、前記複数の可動表示体が停止したときに、前記ビッグボーナスフラグに対応するビッグボーナス図柄の組み合わせが前記図柄表示部内に表示されたことに基づいて、多量の遊技価値が付与されるビッグボーナスゲームを実行するビッグボーナスゲーム実行手段と、を備え、前記停止制御手段は、前記複数の可動表示体のうち特定の可動表示体について、前記ビッグボーナスフラグ及び前記一般フラグのそれぞれに対応する図柄のいずれについても前記所定図柄数の範囲内で引き込むことが可能な特定タイミングで停止操作される限り、常には、前記図柄表示部に同じ図柄が表示されるように、前記複数のフラグのいずれも内部成立していない場合、前記ビッグボーナスフラグが内部成立していることによって前記ビッグボーナスゲームの実行が許容されている場合、及び、前記一般フラグが内部成立している場合に、前記ビッグボーナスフラグに対応する図柄を、前記図柄表示部内の、同じ位置である特定位置に、表示させる同位置停止制御手段を有し、さらに、多量の遊技価値が付与されるビッグボーナスゲームの実行が許容されているときに、前記特定の可動表示体が前記特定タイミングで停止操作されたにもかかわらず、前記ビッグボーナスフラグに対応する図柄を、前記特定位置とは異なる位置に表示することを可能とすべく、前記可動表示体に、前記ビッグボーナスフラグとは別のフラグとしての第2のビッグボーナスフラグに対応する第2のビッグボーナス図柄を含めた上で、前記抽選手段は、前記ビッグボーナスフラグ及び前記一般フラグの他に、前記第2のビッグボーナスフラグについても内部成立するように前記内部抽選を行うとともに、前記停止制御手段は、前記特定の可動表示体について、前記特定タイミングで停止操作される限り、前記ビッグボーナスフラグに対応する図柄を、前記図柄表示部内の、同じ位置である前記特定位置に、表示させながらも、前記第2のビッグボーナスフラグが内部成立しているときには、前記特定の可動表示体が前記特定のタイミングで停止操作されたにもかかわらず、前記ビッグボーナスフラグに対応する図柄が前記特定位置を通り過ぎて前記図柄表示部の外に表示されるように、前記特定の可動表示体を停止させる異位置停止制御手段を有し、前記ビッグボーナスゲーム実行手段は、全ての前記可動表示体の停止時に、前記第2のビッグボーナスフラグに対応する第2のビッグボーナス図柄の組み合わせが前記図柄表示部内に表示されたときには、前記ビッグボーナス図柄の組み合わせが前記図柄表示部内に表示されたときよりも、多量の遊技価値が付与される第2のビッグボーナスゲームを実行するものである。

また、前記複数の可動表示体は、左右方向に並んで配置されており、前記特定の可動表示体は、左右方向に並んで配置された前記複数の可動表示体のうち最も左側に配置された可動表示体である。

また、前記図柄表示部に表示される所定個数は3個である。